

研究構想シート		学校名	浜田市立三隅中学校
		氏名	沖田千鶴子
A 研究主題 自他を尊重し、粘り強く課題解決に取り組む生徒の育成 ～「対話的で深い学び」の視点からの授業改善をとおして～			
B 研究の目的 自分や他者の意見を大切に、試行錯誤しながら粘り強く学び考える生徒を育成する。			
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> 「課題の解決に向けて、自分の考えを表現しようとする生徒」や「友だちと話し合ったり、協力したりすることで、自分の考えが深まったり広がったりしていると感じている生徒」が多い。 「振り返って次につながるような学習に取り組む生徒」は少なく、自ら課題を見つけ、粘り強く課題解決しようとする力が弱い。 「自己肯定感が低い生徒」が多い。 一問一答などの問には、積極的に発表する生徒が多いが、思考力を問われる問題や記述問題、難易度の高い問題になると諦めてしまう生徒が多くみられる。 	E 手立て・内容（研究仮説） (1) 対話による課題解決の場面の設定 ①学び合う必然性をもたせる課題設定の工夫 ②話し合いを活発にさせるしかけの工夫 (2) 生徒の実態に合った課題設定の工夫 ①スモールステップの課題設定 ②個々の能力や興味関心に応じた課題設定 (3) 調べる習慣の定着 ①調べる習慣の定着 ②図書館やICT等を使った調べ学習の推進 (4) 「対話的で深い学び」へ向けた環境整備 ①学習環境の整備 ②安心して自分の意見を言える学習集団づくり ③授業公開による実践の共有	D めざす子どもの姿 (1) 情報を集めたり整理したりしながら試行錯誤し、よりよく課題解決しようとしている (2) ありのままの自分や他者を認め励ましながら、集団で高め合おうとしている	
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> 教育アンケート（生徒用学校評価）を年2回実施し、比較する。 全国学力調査・県学力調査の結果分析。 学校評価や教職員アンケートの結果分析。 		
	G 研究計画 <ul style="list-style-type: none"> 4月 研究主題について確認・全国学力調査（3年生） 5月 生徒アンケート実施 年間を通じて授業改善に取り組む 各学年部1名 公開授業（OJTで指導案審議） 12月 生徒・教職員アンケート・学校評価 実施、県学力調査（1・2年生） 1月 生徒・教職員アンケート・学校評価 結果分析 2月 県学力調査 結果分析 3月 次年度研究計画の作成 		